



第48号

(発行所)

真宗大谷派

松岡山 廣讚寺

中村区城屋敷町3-30

TEL(052)411-5301

FAX(052)411-5341

携帯 090-1568-4623

E-mail:kousan-temple
@trad.ocn.ne.jp

本願力にあいぬれば

むなしくすぐるひとぞなき

功德の宝海みちみちて

煩惱の濁水へだてなし

親鸞聖人『高僧和讃』より

今日は一日で何をしたのだろうかということを考える。

「今日は一日、なにもしなかったな」

「今日は忙しかった。たくさんのかんことをしたな」

「今日は、いつの間にか時間が過ぎ去っていったな」

まあ、そんな感じで一日一日を終えていく。

最近は一週間が経つのも本当に早い。

だからか、一か月が経つのもこれまた早い。

この前、正月だと思っていたら、もう彼岸だ。そうこうしていたら、また誕生日がきて、一つ年をとる。自分が今、何歳なのかとつきに出ない時がある。いつの間にか今の歳になっていた。

今まで何のために、何をしてきたのかわからない。私の人生って何だったの？この、むなしと思ひよ、何とかならないだろうか？そんな自分に親鸞聖人は、念仏の教えをすすめているのだ。



ご命日の集いに参加して

小雨が降る大寒の日、午後四時から「料亭美よし」で、今年度最後のご命日の集いがあった。廣讚寺からは住職、総代はじめ十数名が参加されていた。

法話は一時間ほどで、昨年と同じ竹原了珠氏（名古屋教区教導）がお話をされた。東日本大震災を受けた福島の子童らを招いて一週間ほどのホームステイを主催されたことを中心に法話をされた。

法話の中で特に私の記憶に残った話を書きます。

十二月二十九日のお別れの日、年輩の女性が涙を浮かべて、

「長い間、生きてきて、これくらい人の温かさを感じたことはありません。これから何十年かかるかわかりませんが放射能と戦うところへ帰ります。ありがとうございます。ありがとうございました」

この言葉と一週間のホームステイをやられた経過を詳細に述べられた。

竹原氏は、お礼を言われ自分なりに感動したが、うぬ

ぼれと、鼻持ちならん自分に気づいたそうです。わずか一週間のボランティアで自分の限界だとか、偽善ではないかと思っただけです。

本当の大悲は仏の慈悲であり「獲信見敬大慶喜(正信偈)」だと確認された。小慈・小悲はすぐに忘れ去られてしまいます。しかし、忘れないように自覚して尽くすのが肝要なことで、継続は力なり、と語られました。

この後、懇親会が開かれました。二十組のお寺さんの人々と話ができて楽しかったです。私の法悦に浸るひとときでもありました。役員の皆様に感謝しつつ、来年会いできることを楽しみにしながら帰路につきました。

説阿弥陀経に登場する弟子

「羅喉羅」

伊藤和美

今回は羅喉羅というお弟子の話を書きます。

お釈迦さまが出家される前に結婚をされています。その時に生まれたのが羅喉羅です。そして、羅喉羅が生ま

れて一週間後に出家されたといわれています。

深夜、羅喉羅の寝顔を見て

「我、必ずやすみやかにブツダとなり汝を見よう」

と言われ出家の旅に出られました。

そしてお釈迦さまは六年の厳しい修行の後に悟りを開きます。

羅喉羅も弟子になりましたが、幼かったので舍利弗しゃりほつが指導係になりました。羅喉羅はいたずら好きでした。例えば、人にお釈迦さまがどこにいるか尋ねられても、本当は山にいらっしゃるのに、川にしていると答える。そのようなことを繰り返していました。

そんな様子をお釈迦さまをご覧になられ、妄語はつつしむように戒めました。それ以後、羅喉羅は正しい言葉を使うことに心がけるようになり、弟子の中でも、細かい戒律を守るようになり『密行第一』と言われるようになりました。



摘草の摘む度に子は母に見せ

恵

行事予定

三月十日(土) 七時 同朋委員会・総会

(役員は六時)

十九日(月) 二時～四時 学習会

〔春季彼岸永代経・蓮如講 執行〕

二十日(祝) 十時 おつとめ・委員長報告

おとき 説教 前田健雄師

一時 おつとめ

三時 帰敬式

二十一日(水) 三時 おつとめ・法話

二十二日(木) 三時 おつとめ・法話

二十三日(金) 女人講・報恩講

十時 おつとめ・住職法話

おとき

一時 おつとめ

二十八日(水) 二十八日講・総会

十時 おつとめ・住職法話

おとき

四月十一日(水) 十六時半より

先代住職 讚海院釋亮昭 一周忌法要

先々代住職 恭敬院釋亮法 五十回忌法要

を勤めます。ぜひお参りください。

四月 五日(木) 常任委員会

十四日(土) 七時半 同朋委員会・総会

(役員は六時半)

十九日(木) 二時～四時 学習会

二十八日(土) 朝 おみがき

二十八日講・総会

